

西日本旅客鉄道株式会社

理事 近畿統括本部 兵庫支社長

平田 恭子 様

山陽本線・赤穂線の利便性向上に関する要望書

令和7年12月

東備西播定住自立圏域 JR 利用促進協議会

西日本旅客鉄道株式会社におかれましては、日頃より乗客の安全輸送並びにサービス向上を最優先に、公共交通の維持・発展にご尽力いただいております、敬意と感謝申し上げます。

さて、山陽本線は、備前播磨地域のみならず日本の鉄道交通・物流を支える大動脈であり、また赤穂線は、兵庫県西部から岡山県に至る極めて重要な交通機関として、沿線住民をはじめ地域住民の通勤、通学、通院など日常的な移動を支えているだけでなく、当該地域から京阪神地域にかけての交流をはじめ、経済活動、観光、経済文化圏の創出などに大きな役割を果たしています。

このようなことから、備前市、赤穂市及び上郡町の諸団体を構成員とする本協議会では、山陽本線及び赤穂線の輸送力強化と利便性向上の促進はもちろんのこと、沿線内外の利用促進を図り、圏域の活性化を目的として活動しております。

そうした中、令和3年10月、令和4年3月、令和5年3月及び令和5年5月に実施されましたダイヤ改正については、次に掲げる利便性向上の取組みが不可欠であると考えますので、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

(要望項目)

1 山陽本線並びに赤穂線の利便性確保

- (1) 朝夕の通勤・通学時間帯（6時台～8時台、17時台～19時台）における上郡駅～姫路駅間、播州赤穂駅～姫路駅間、播州赤穂駅～岡山駅間のダイヤを確保されたいこと。
- (2) 昼間時間帯（10時台～15時台）における上郡駅～姫路駅、播州赤穂駅～姫路駅間の減便、播州赤穂駅着の新快速の減便は、速やかに従前のダイヤを復活されたいこと。また、赤穂線については、従前のダイヤに戻すことができなければ、播州赤穂駅発着の新快速として運行されたいこと。
- (3) インバウンドに対応した圏域内の観光振興を推進するため、「WEST QR 関西エリアパス」の自由周遊区間の播州赤穂駅及び上郡駅への延伸や圏域周辺を含むデジタル周遊パス等の創設を検討されたいこと。

2 JR車両の増結について

朝7時台の姫路発播州赤穂行き及び上郡方面行きの電車は、通勤・通学者で車内が混雑している。当該列車を利用する主に上郡高等学校、相生産業高等学校及び赤穂高等学校の通学生等からは、車両が短いため車内混雑が

ひどく、ぜひとも三密状態の改善や長時間の立ち乗り等の解消をして欲しいとの意見が寄せられている。JRを利用する沿線の高校生が安心して通学できる環境を整えることは、若者が減少する本圏域にとって重要な課題である。ついては、朝の通学時間帯の混雑解消のため、当該時間帯に運行される列車について車両を増結されたいこと。

3 地域の生活基盤の更なる向上

(1) 引き続き駅員の人員確保等に取り組まれないこと。

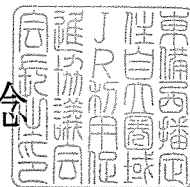
券売機での切符購入時にインターホン対応の待ち時間が長く、行列が発生している状況が見受けられる。券売機の操作に不慣れな高齢者の利用も多く、円滑な購入が困難となっていることから、オペレーターの増員や券売機の増設等、利用者の利便性の向上を図られたいこと。あわせて、視覚障害者、聴覚障害者をはじめ、すべての利用者に分かりやすい施設管理を推進されたいこと。

(2) 圏域自治体では、駅に駐車場の整備を進め、利便性向上につながる駅周辺環境整備を図っている。地域の生活基盤を守るため、さらに関係自治体や他の交通事業者等と連携協力し、地域のまちづくりと連動した地域交通の維持や利便性の向上に取り組まれないこと。

令和7年12月

東備西播定住自立圏域 JR 利用促進協議会

会 長 赤穂市長 牟 禮 正 稔



東備西播定住自立圏域 JR 利用促進協議会名簿

1. 会員

会 長	赤 穂 市 長	牟 禮 正 稔
副会長	備 前 市 長	長 崎 信 行
副会長	上 郡 町 長	梅 田 修 作
委 員	赤穂市議会議長	西 川 浩 司
委 員	備前市議会議長	西 上 徳 一
委 員	上郡町議会議長	河 井 正 人
委 員	赤穂商工会議所会頭	目 木 敏 彦
委 員	備前商工会議所会頭	寺 尾 俊 郎
委 員	上郡町商工会会長	大 崎 基 弘

2. オブザーバー

関西福祉大学学長	加 藤 明
はくほう会医療専門学校赤穂校校長	藤 村 忠 史
赤穂高等学校校長	菊 川 泰
備前緑陽高等学校校長	古 城 秀 樹
上郡高等学校校長	武 田 由 哉
相生産業高等学校校長	西 田 拓 巳

